

救える命が救えなくなる！！

救急車を呼ぶ前に考えよう



= 救急車の適正利用にご協力をお願いします =



近年、救急車の出動件数・搬送人員数は増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大による影響も重なり救急要請の増加、医療現場に大きな負荷が掛かっています。また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

地域の限られた救急車を有効活用し、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにするために、**救急車の適正利用**が必要です。



救急安心センター事業（#7119）ってナニ？：総務省消防庁 HP

徳島救急医療相談（#7119）について：徳島県 HP



救急車適正利用について：徳島中央広域連合消防本部 HP



※**徳島医療救急相談（#7119）**とは、夜間・休日の急な病気やけがなどの際、家庭でどのように対処すればよいか判断に迷ったときに、看護師等へ相談ができるものです。「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」、悩んだりためらわれた時は、徳島医療救急相談（#7119）に電話してください！

※15歳未満のお子さんが急な病気やけがをしたときは、「**徳島子ども医療電話相談（#8000 または 088-621-2365）**」に電話してください！

徳島中央広域連合消防本部 消防課 救急救助係

TEL：0883-26-1191 FAX：0883-24-9918

救急車の要請を控えることだけが「救急車の適正利用」ではありません。

事故等による怪我で急を要する場合、病気の症状が悪化する恐れがある場合、熱があり呼吸困難の症状がある場合など、医療機関に迅速に搬送する必要があると判断された場合は、その症状を見逃さず、迷わずに、素早く 119 番で救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。

